

ご修理のときは

修理・お手入れ・お取扱いのご相談は、まずお買い求めの販売店にご依頼ください。
転居や贈答品などでお困りの場合は、商品名・品番をご確認のうえ、お近くの営業拠点へ
お問い合わせください。

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号 (NO.) などを下欄にメモしておく、修理を
依頼されるとき便利です。

お買い上げ日	年	月	日	製造番号 (NO.)
販売店 (TEL)				

お客様相談センター【ご利用時間 9:00～18:00】※全日対応(土・日・祝日対応)

●フリーダイヤル

 **0120-20-8822** ※携帯電話、IP 電話からもご利用いただけます。

全国営業拠点

■支店の移転等により連絡がとれない場合は、下記のアドレスから
最新の電話番号をご確認いただけます。

<https://www.hikoki-powertools.jp/relation/sales.html>



●北海道支店	TEL (011) 786-5122	●北陸支店	TEL (076) 263-4311
●東北支店	TEL (022) 288-8676	●関西支店	TEL (06) 7167-3644
●東京支店	TEL (03) 5753-7703	●中国支店	TEL (082) 504-8282
●関東支店	TEL (03) 6374-5687	●四国支店	TEL (087) 863-6761
●中部支店	TEL (052) 533-0231	●九州支店	TEL (092) 621-5772

工機ホールディングス株式会社

〒108-6018 東京都港区港南 2 丁目 15 番 1 号 (品川インターシティ A 棟)

営業本部 TEL (03) 5783-0626 (代)

電動工具ホームページ — <https://www.hikoki-powertools.jp>

部品コード C99223103 307 G

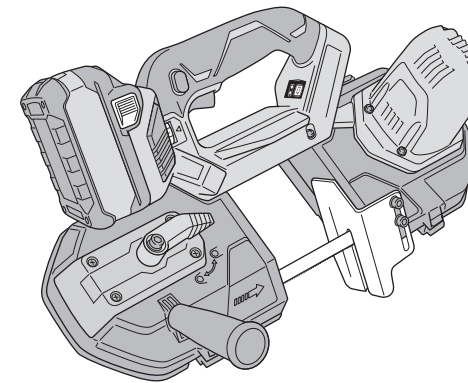
HiKOKI

取扱説明書

コードレスロータリバンドソー

18 V CB 18DBL(S) 14.4 V CB 14DBL(S)

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、
ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる所に
大切に保管してご利用ください。



用途

- 電線管、ステンレス鋼管、ライニング鋼管、棒鋼などの各種軟鋼材の切断
- 電力通信ケーブル、アルミサッシなどの非鉄金属材料の切断
- プラスチックの切断 (熱軟化性のプラスチックは切断熱で溶けて、帯のこが食い込み、切断できません)

コードレス工具の安全上のご注意… 1

本製品の使用上のご注意…………… 5

はじめに

リチウムイオン電池の使用上のご注意… 7

各部の名称…………… 9

仕様…………… 11

標準付属品…………… 12

別売部品…………… 13

ご使用前の準備…………… 13

各種操作方法について…………… 16

使い方

帯のこ・帯のこ周速の選定…………… 19

帯のこの交換…………… 21

ご使用前の点検…………… 23

切断する…………… 25

作業上のご注意…………… 28

その他

保守・点検…………… 29

故障診断…………… 33

ご修理のときは…………… 裏表紙

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様上の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

⚠警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容の注意。

⚠注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容の注意。

注 : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要な注意。

なお、**⚠注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

コードレス工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

- ① **専用の充電器や蓄電池を使用してください。**
弊社カタログに記載されている指定の充電器や蓄電池を使用してください。
指定以外の蓄電池を使用すると、破裂して傷害や損害を及ぼす恐れがあります。
- ② **蓄電池の端子間を短絡（ショート）させないでください。**
釘袋などに入れると、短絡（ショート）して、発煙・発火・破裂などの恐れがあります。
- ③ **蓄電池の内部に、水のような導電性の液体を入れないでください。**
発熱・発火・破裂などの恐れがあります。
- ④ **作業場や保管場所の周囲状況も考慮してください。**
 - 工具本体や蓄電池は、雨の中や湿った場所で使用・放置・保管をしないでください。感電や発煙の恐れがあります。
 - 作業場は十分に明るくしてください。
暗い場所での作業は、事故の原因になります。
 - 可燃物、可燃性あるいは腐食性の液体やガスがある所での使用・充電・保管をしないでください。発火や火災の恐れがあります。
- ⑤ **保護メガネを使用してください。**
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
切削した物や粉じんが目や鼻に入る恐れがあります。

⚠警告

- ⑥ **加工する物をしっかりと固定してください。**
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。
手で保持するより安全で、両手でコードレス工具を使用できます。
固定が不十分な場合は、加工する物が飛んで、けがの原因になります。
- ⑦ **次の場合は、コードレス工具のスイッチを切り、蓄電池を工具本体から取りはずしてください。**
 - 使用しない、または、準備・調整・保守・点検する場合。
 - 付属品や別売部品を取付け、交換する場合。
 - その他、危険が予想される場合。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑧ **不意な始動は避けてください。**
スイッチに指を掛けて運ばないでください。
コードレス工具が作動して、けがの原因になります。
- ⑨ **指定の付属品やアタッチメントを使用してください。**
この取扱説明書、および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメントを使用してください。事故やけがの原因になります。
- ⑩ **蓄電池を火の中に投入しないでください。**
破裂して、有害物質が出る恐れがあります。

⚠注意

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
散らかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **子供を近づけないでください。**
 - 作業員以外、コードレス工具に触れさせないでください。けがの原因になります。
 - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。けがの原因になります。
 - 安全の責任を負う人の監視または指示がないかぎり、補助を必要とする人が単独で
使用しないでください。
- ③ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**
 - 乾燥した場所で、子供の手が届かない所または鍵のかかる所に保管してください。
事故の原因になります。
 - 工具本体や蓄電池を、温度が50℃以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や
夏の車内など）に保管しないでください。
蓄電池劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。

⚠注意

- ④ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率良く作業するために、コードレス工具の能力に合った速さで作業してください。能力以上での使用は、事故の原因になります。
 - モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。発煙、発火の恐れがあります。
- ⑤ 作業に合ったコードレス工具を使用してください。
- 小形のコードレス工具やアタッチメントは、大形のコードレス工具で行う作業には使用しないでください。けがの原因になります。
 - 指定された用途以外に使用しないでください。けがの原因になります。
- ⑥ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、着用しないでください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
 - 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。滑りやすい手袋や履物は、けがの原因になります。
 - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。回転部に巻き込まれる恐れがあります。
- ⑦ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。転倒して、けがの原因になります。
- ⑧ コードレス工具は、注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率良く作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。損傷した刃物類を使用すると、けがの原因になります。
 - 付属品や先端工具の取付け・取りはずしは、取扱説明書に従ってください。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。けがの原因になります。
- ⑨ スパナや調整キーなどは、取りはずしてください。
- スイッチを入れる前に、スパナや調整に用いたキーなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。付けたままでは作動時に飛び出して、けがの原因になります。
- ⑩ 油断しないで十分注意して作業をしてください。
- コードレス工具を使用する場合は、取扱い方法、作業の仕方、周りの状況など、十分注意して慎重に作業をしてください。軽率な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 常識を働かせてください。非常識な行動をすると、事故やけがの原因になります。
 - 疲れている場合は、使用しないでください。事故やけがの原因になります。
- ⑪ 十分な防じん対策や飛散防止対策をしてください。
- 特に、人体に有害な成分を加工するときは注意してください。

⚠注意

- ⑫ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用しないでください。
- アスベストは、人体に肺がん等の重大な健康被害を発症させる物質です。
- ⑬ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
 - 破損した保護カバー、その他の部品交換は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店に依頼してください。
 - スイッチで始動および停止操作のできないコードレス工具は、使用しないでください。誤作動して、けがの原因になります。
- ⑭ コードレス工具の修理は、専門店に依頼してください。
- サービスマン以外の方は、工具本体や蓄電池の分解・修理・改造をしないでください。発火や誤作動など、けがの原因になります。
 - コードレス工具が高温になるなど、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
 - この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
 - 修理は、お買い求めの販売店に依頼してください。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
 - アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業を含む)で使用したコードレス工具の保守・点検・修理は受け付けできません。

○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

本製品の使用上のご注意

先にコードレス工具として共通の注意事項を述べましたが、コードレスロータリバンドソーについて、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠警告

- ① 作業する箇所に、内部配線やガス管などの埋設物がないことを、作業前に十分確かめてください。
- ② 使用中は、機体を確実に保持してください。
- ③ のこ車カバーを閉じて使用してください。
- ④ 使用中は、回転している帯のこや回転部に手や顔などを近づけないでください。
- ⑤ 使用中は、帯のこなどに手や顔などを近づけないでください。
- ⑥ 誤って落としたり、衝撃が加わったりしたときは、機体や帯のこなどに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
- ⑦ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音、異常振動がしたりするときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ⑧ 蓄電池を複数個続けて使用しないでください。
機体に支障をきたすばかりでなく、機体の温度が上昇し、やけどをする恐れがあります。
- ⑨ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - 使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - 作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - 使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火などの恐れがあります。
- ⑩ 工具本体の端子部（蓄電池取付部）に変形が生じた場合は、使用しないでください。
短絡（ショート）して、発煙・発火の恐れがあります。

⚠注意

- ① 帯のこや付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
- ② 切断する材料は、確実に固定してください。
材料が動いて帯のこが破損する原因になります。
- ③ 切り落とし寸前や切断中に、材料の重みで帯のこが挟み付けられないように、切断する部分の近い位置に支える台を設けてください。
- ④ 材料の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性の良い台を設けてください。
- ⑤ 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。
- ⑥ 作業前に、周囲の安全を確認してから空転させ、機体の振動や帯のこに異常がないことを確認してください。
- ⑦ 高所作業のときは、下に人がいないことを確かめてください。
材料や機体などを落としたとき、事故の原因になります。
- ⑧ 材料に帯のこを急激にぶつけないでください。
- ⑨ 材料の切断は、製品の自重のみか、軽く押し付ける程度で行ってください。
無理に力を加えると、帯のこがはずれる、または破損する原因になります。
- ⑩ 切断直後の帯のこ・材料・切粉は、熱くなっているので素手で触らないでください。
- ⑪ 帯のこや のこ車ラバーに付着した切粉や、フレーム内にたまった切粉は取り除いてください。
帯のこがはずれたり、スリップする原因になります。
- ⑫ スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。
- ⑬ 蓄電池は確実に取付けてください。

リチウムイオン電池の使用上のご注意

本製品はリチウムイオン電池を使用します。リチウムイオン電池には、寿命を長くする目的で出力を停止する保護機能が付いています。

下記 ①、②、③ の場合、本製品を使用中にモーターが停止することがあります。これは保護機能によるものであり故障ではありません。

- ① 電池残量が少なくなるとモーターが停止します。
速やかに充電してください。
- ② 過負荷状態になるとモーターが停止する場合があります。
スイッチを切り、過負荷の原因を取り除いてください。
- ③ 蓄電池が過熱状態になるとモーターが停止する場合があります。
蓄電池の使用を中断し、工具本体より取りはずして、風通しの良い日かげなどで蓄電池を十分に冷ましてください。

再びご使用になれます。

さらに蓄電池の液漏れ、発熱・発煙・発火を未然に防ぐため、次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- ① 蓄電池の端子部に、切りくずやほこりがたまらないようにしてください。
 - ・使用前に、端子部に切りくず、ほこりがたまっていないことを確認してください。
 - ・作業中に、機体に付いた切りくず、ほこりが端子部に降りかからないようにしてください。
 - ・使用中断時、および使用後に切りくず、ほこりが降りかかる場所に機体を放置しないでください。
- ② 誤って落とすなど、蓄電池の端子部に変形が生じた場合は、使用しないでください。また、外傷、変形の著しい蓄電池は使用しないでください。
- ③ 蓄電池に釘をさす、ハンマーでたたく、踏みつける、投げつけるなど強い衝撃を与えないでください。
- ④ 蓄電池を指定機器以外の用途に使わないでください。
- ⑤ 蓄電池を電子レンジや高圧容器に入れるなど、過熱・高圧を与えないでください。
- ⑥ 蓄電池が液漏れしたり、異臭を発したりするときは直ちに火気より遠ざけてください。
- ⑦ 強い静電気の発生する場所では使用しないでください。
- ⑧ 蓄電池の使用、充電、保管時に異臭・発熱・変色・変形、その他異常に気が付いたときは、直ちに使用を中止して、お買い求めの販売店に相談してください。

⚠ 注意

- ① 蓄電池が液漏れして液が目に入ったときは、こすらずにすぐ水道水などのきれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
放置すると液により目に障害を与える原因になります。
- ② 蓄電池が液漏れして液が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。
皮膚がかぶれたりする原因になる恐れがあります。
- ③ 蓄電池を一般のごみと一緒に捨てないでください。
- ④ 蓄電池は子供の手の届かない所に保管してください。
- ⑤ 蓄電池の仕様表示に従って正しく使用してください。

蓄電池はリサイクルへ

蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。蓄電池を廃棄する際は、リサイクルにご協力いただき、お買い求めの販売店にご持参ください。

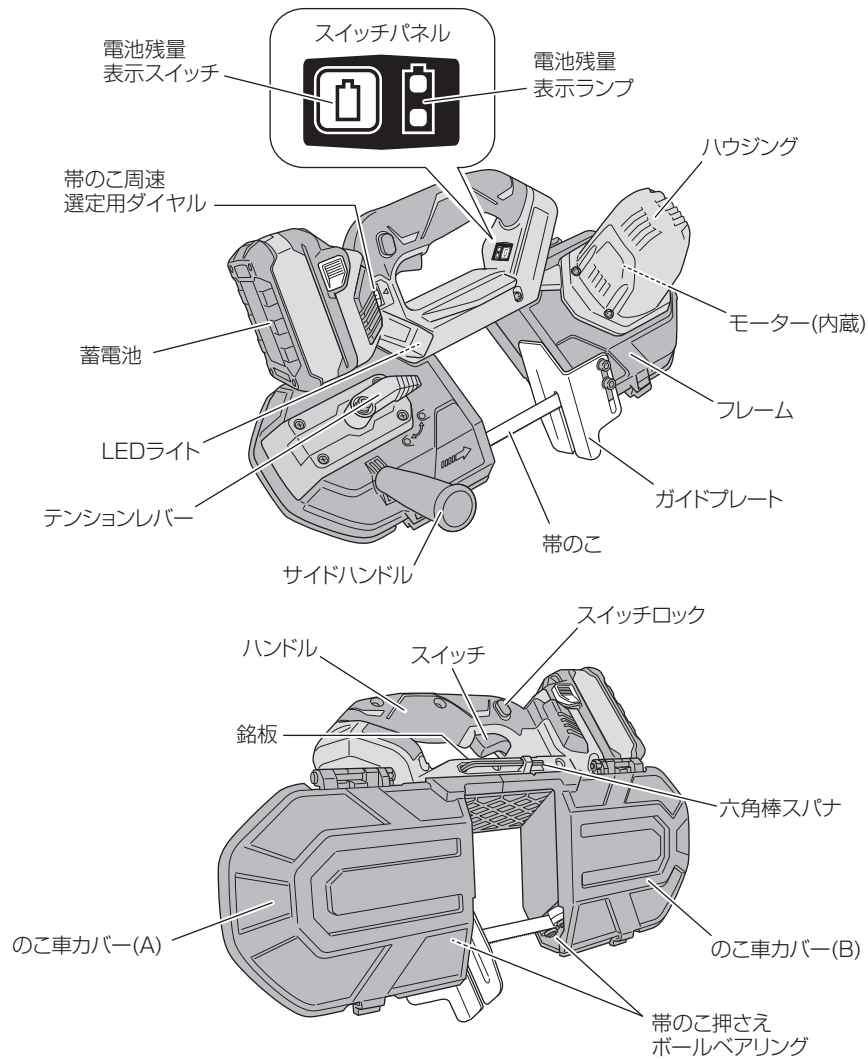


○ 蓄電池は、弊社純正品をご使用ください

弊社指定の蓄電池以外の使用や分解、改造した物（蓄電池を分解してセルなどの内蔵部品を交換した物を含みます）は、安全性や製品に関する保証ができません。

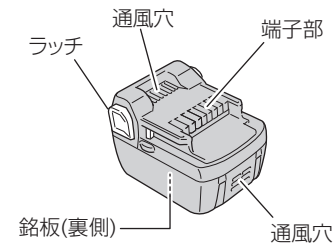
各部の名称

工具本体

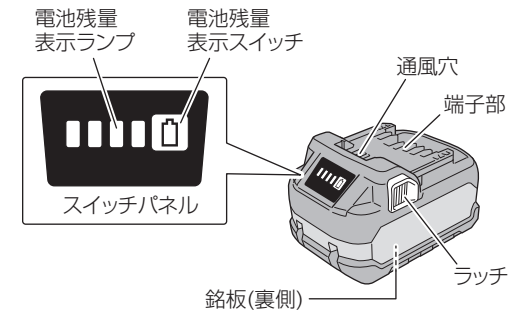


蓄電池

14.4 V (BSL 1460)



36 V (BSL 36A18X)



仕 様

1. 工具本体

形 名	CB 18DBL(S)	CB 14DBL(S)
モーター	ブラシレスモーター	
帯の寸法	周長 900 mm × 幅 12.5 mm × 厚さ 0.5 mm	
帯の周速	1.3 ~ 3.2 m/s {80 ~ 195 m/min} (無段変速)	
最大切断能力	丸パイプ	φ 83 mm
	角パイプ	□ 80 mm
寸法 長さ × 幅 × 高さ	413 × 173 × 266 mm [BSL 36A18X 装着時]	413 × 173 × 252 mm [BSL 1460 装着時]
使用可能蓄電池	- マルチボルトタイプ蓄電池 - リチウムイオン電池 ● 18 V (BSL 18**シリーズ) ● 14.4 V (BSL 14**シリーズ)	
質 量	3.6 kg [BSL 36A18X 装着時]	3.4 kg [BSL 1460 装着時]
LED ライト	白色 LED	
残量表示ランプ	赤色 LED	

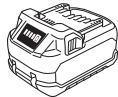
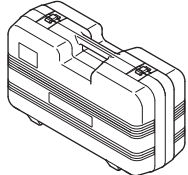
2. 蓄電池

形 名	BSL 36A18X	BSL 1460
種 類	円筒密閉形リチウムイオン電池	
電池電圧	36 V / 18 V (自動切替 ^{※1})	14.4 V
容 量	2.5 Ah / 5.0 Ah (自動切替 ^{※1})	6.0 Ah
冷 却	対応	
使用可能 コードレス製品	18 V 品：使用可 ^{※2} 36 V 品：マルチボルトタイプ 蓄電池対応製品 ^{※2} および CB 14DBL(S)	14.4 V 品 および CB 18DBL(S)
使用可能充電器	スライド式リチウムイオン電池対応充電器 UC 36***、UC 18***シリーズ	
残量表示ランプ	緑色 LED	—

※1：工具本体により自動で切り替わります。

※2：ご利用できない製品があります。詳しくは、弊社ホームページまたは総合カタログで確認してください。

標準付属品

品名・形名	工具本体 仕様	CB 18DBL(S)		CB 14DBL(S)
		LXPKZ	NN	LYPK
帯のこ (ハイス 18 山 / インチ)		1 本	1 本	1 本
サイドハンドル		1 個	1 個	1 個
六角棒スパナ (4 mm)		1 個	1 個	1 個
蓄電池 BSL 36A18X		1 個	—	—
蓄電池 BSL 1460		—	—	1 個
充電器 ● 取扱い方法は、充電器の取扱説明書を 確認してください。		1 台	—	1 台
収納ケース		1 個	—	1 個
電池カバー		1 個	—	1 個

別売部品 (別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

帯のこ
(寸法：周長 900 mm × 幅 12.5 mm × 厚さ 0.5 mm)

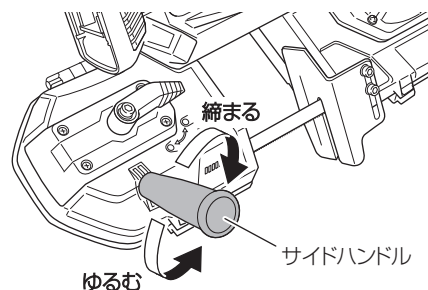
刃の山数 / インチ	材 質	本 数
18 山	ハイス	3 本入
14 山		

ご使用前の準備

●サイドハンドルの取付け

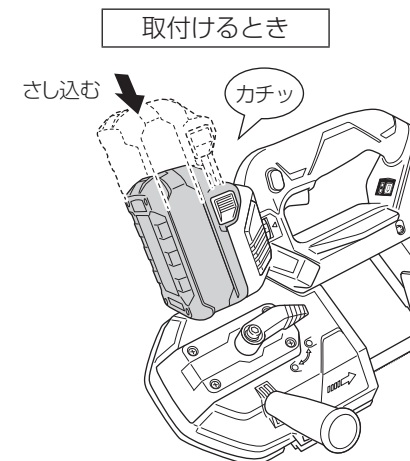
付属のサイドハンドルを図のように取付けてください。

注 サイドハンドルを取付け、両手で作業してください。
けがの原因になります。

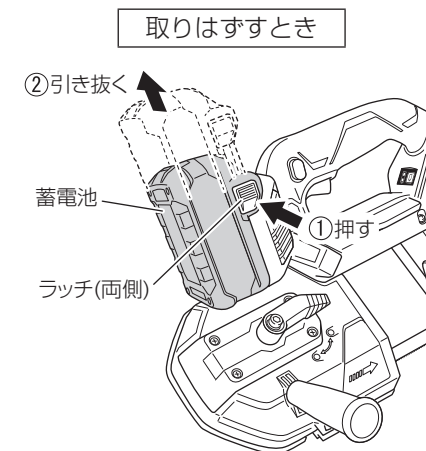


●蓄電池の取付け・取りはずし

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。

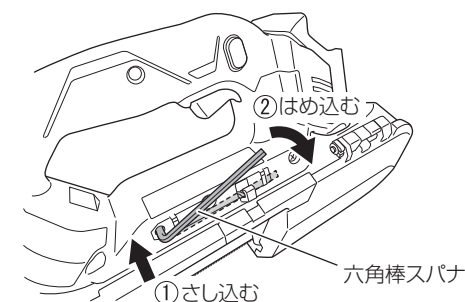


両側のラッチを押しながら、スライドさせて引き抜きます。



●六角棒スパナの収納

付属の六角棒スパナを機体に収納することができます。
紛失しないように収納してください。



●ガイドプレートの出張り量調整

⚠警告

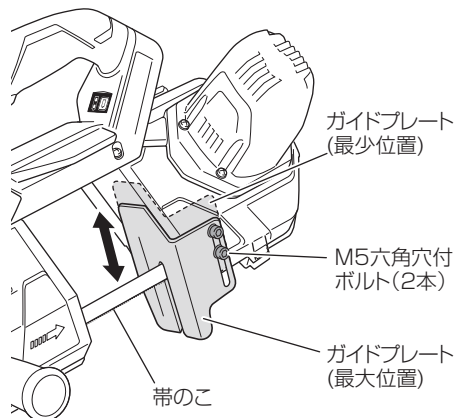
ガイドプレートの出張り量調整の際は、事故を防止するため、スイッチを切り、蓄電池をコードレス工具本体から取りはずしてください。

帯のこに対するガイドプレートの出張り量を調整できます。

工場出荷の際には、最小の位置になっていますので、通常の作業では最大の位置にしてください。

付属の六角棒スパナ(4mm)でM5六角穴付ボルト(2本)をゆるめ、ガイドプレートを移動し、ボルトを確実に締付けてください。

また、材料を切り終わる前にガイドプレートが壁などの障害物に当たる場合などは、適切な位置に戻してください。



各種操作方法について

●スイッチの操作について

スイッチロックを矢印のどちらか一方側に押しながらスイッチを引くと、帯のこが回転し、同時にLEDライトが点灯します。

スイッチが入った後は、スイッチロックをはなしても、スイッチを引いているかぎり、帯のこは回転を続けます。また、LEDライトも点灯し続けます。

スイッチをはなすと、帯のこの回転が停止し、約15秒後にLEDライトが自動消灯します。

注 ●LEDライトのレンズ部に付着したごみは、柔らかい布などでふき取り、傷が付かないように注意してください。

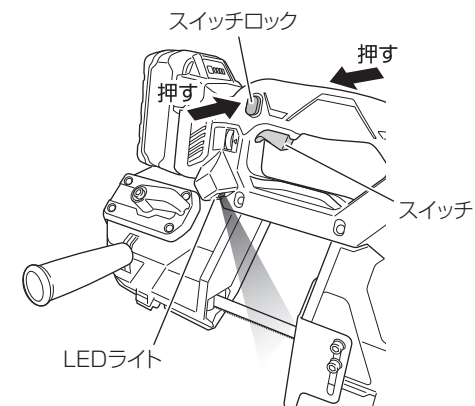
LEDライトのレンズ部に傷が付くと、明るさが低下する原因になります。

●LEDライトのレンズ部の掃除の際はガソリン、シンナーなどでふかないでください。レンズを傷めます。

⚠警告

LEDライトをのぞき込んで、直接LEDライトの光を目に当てないでください。

LEDライトの光が連続して目に当たると、目を痛める原因になります。



● 工具本体の電池残量表示ランプについて

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

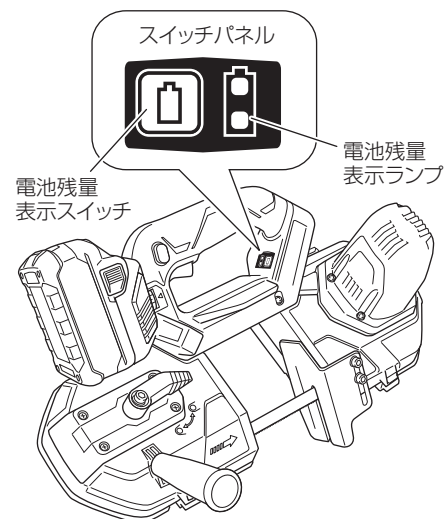
電池残量表示は、使用環境、蓄電池の状態などにより異なりますので目安としてください。

ランプの点灯状態	電池残量
	十分電池残量があります。
	電池残量が半分になっています。
	非常に少なくなっています。早めに充電してください。

- 注**
- 電池の消耗を少なくするため、残量表示スイッチを押している間のみ、ランプが点灯します。
 - ランプは蓄電池を本体に取付け、一度スイッチを引いた後でないと電池残量表示スイッチを押しても点灯しません。
 - 18V蓄電池と14.4V蓄電池を入替えて使用した場合、電池残量表示が正しく表示されない場合があります。
 - 残量表示機能のある蓄電池を使用する際は、蓄電池側の残量表示を参照してください。

⚠ 注意

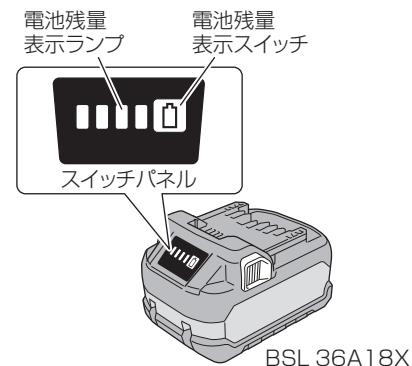
スイッチパネルに強い衝撃を与えたり、破いたりしないでください。故障の原因になります。



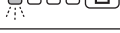
● 蓄電池の電池残量表示について [BSL 36A18X]

電池残量表示スイッチを押すとランプが点灯して、電池残量を確認することができます。

電池残量表示は、使用環境、蓄電池の状態などにより異なりますので目安としてください。



- 注**
- 残量表示機能のある製品側、および充電器側の残量表示と異なる場合があります。

ランプの点灯状態		電池残量
	点灯	75% 以上
		50% ~ 75% 未満
		25% ~ 50% 未満
		25% 未満
	点滅	0%
		高温のため出力停止※ ¹
		故障のため出力停止※ ²
		

※1: 蓄電池を工具本体より取りはずし、十分に冷ましてください。

※2: 蓄電池の故障と考えられますので、お買い求めの販売店に相談してください。

帯のこ・帯のこ周速の選定

⚠警告

- 材料に適した帯のこを使用してください。
また、帯のこ周速選定用ダイヤルで材料に適した帯のこ周速を選定して作業してください。
材料に適さない帯のこ、帯のこ周速で切断しますと、切断精度が悪くなるばかりでなく、帯のこ破損の原因になります
- 帯のこ山数の選定は、材料の肉厚に2山以上かかることを基準に選定してください。

●帯のこの選定について

帯のこは、切断する材料の肉厚により下表を目安に選定してください。

帯のこ選定表（○印のある帯のこを使用してください。）

肉厚 (mm)	帯のこ	
	材質：ハイス	
	18 (山 / インチ)	14 (山 / インチ)
3以下	○	
3～6	○	○
6以上		○

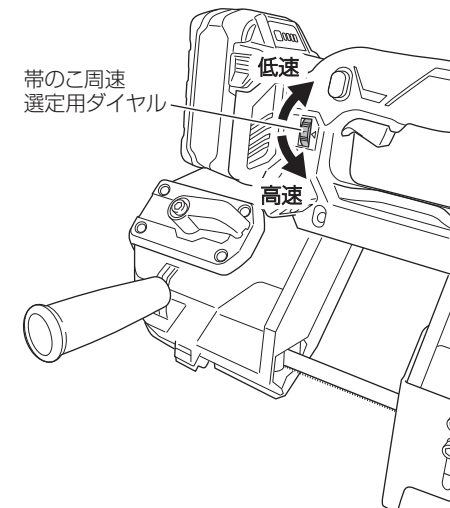
●帯のこ周速の選定について

本機は、帯のこ周速を無段階に調整できる電子制御回路を内蔵しています。

帯のこ周速選定用ダイヤルで、切断する材料の材質・肉厚、作業条件に合ったモードを選定して、作業してください。

- 通常モードでは、帯のこの周速をダイヤル1～5で無段階に選定できます。
ダイヤル1が最低速、5が最高速です。
通常モードは負荷が変化しても、ダイヤルで選定した周速を維持します。
- オートモード(ダイヤルA)では、無負荷時の周速を低くすることで、騒音を抑え、作業量を伸ばすことができます。
オートモードは、作業中に負荷がかかると周速を自動的に引き上げます。
(ダイヤル5相当)

また、切断後負荷が小さくなると、自動的に周速を下げ、無負荷時の電力消費を抑えます。



モード	ダイヤル	帯のこ周速 (目安)	用途
通常モード	1 ↑ 低速	1.3 m/s (80 m/min)	↑ ステンレス・合金鋼などの難削材 鋼材 (丸棒・形鋼・鋼管などの厚肉材) (肉厚 3.6 mm 以上) 鋼材 (鋼管などの薄肉材) (肉厚 3.5 mm 以下) ↓
	2	1.8 m/s (109 m/min)	
	3	2.3 m/s (138 m/min)	
	4	2.8 m/s (166 m/min)	
	5 ↓ 高速	3.2 m/s (195 m/min)	
オートモード*	A	2.0 m/s (120 m/min) (無負荷時)	作業待機状態
		3.2 m/s (195 m/min) (負荷時)	切断時

※作業条件等によって、周速が上記より異なる場合があります。

</

ご使用前の点検

⚠ 警告

使用前に次のことを確認してください。
手順①～⑤については、スイッチを切り、蓄電池をコードレス工具本体から取りはずした状態で点検・確認してください。

1 スイッチが切れていることを確かめる

スイッチが入っているのを知らずに蓄電池を工具本体にさし込むと、不意に機体が起動し、思わぬ事故の原因になります。

⚠ 警告

正規以外の帯のこや異常がある帯のこを使用すると、帯のこが破損し、けがの原因になります。

2 帯のこを確かめる

- 帯のこは正規のモノか、また刃欠けやヒビ割れ、変形がないか十分確認してから使用してください。
- 帯のこが正しく取付けられていることを確かめてください。
(P.21「帯のこの交換」参照)

⚠ 警告

- のこ車カバーを取付けて使用してください。
- 帯のこが破損したり、はずれたとき、けがの原因になります。
- のこ車カバーと帯のこが接触していないことを確認してください。

注 ③ のこ車カバーに異常がある場合、⑤ スイッチロックが元の位置に戻らない場合は、直ちに使用を中止し、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。

3 のこ車カバーの取付けを確かめる

のこ車カバーは、体が帯のこに触れる事故を防止するとともに、帯のこが破損したり、はずれたときに、帯のこが飛び出してくるのを防止する物です。
のこ車カバーに破損がないこと、のこ車カバーがツメで確実に固定されていることを確認してください。

⚠ 注意

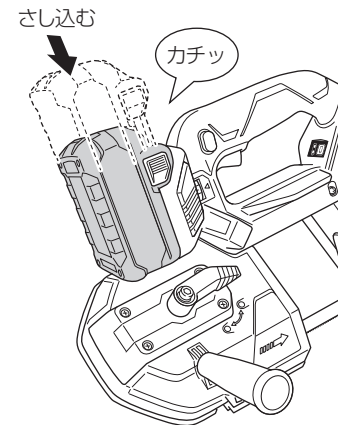
蓄電池は確実に取付けてください。
確実にしないと、蓄電池が抜け落ちたりして、けがの原因になります。

⚠ 警告

スイッチを入れるときは、帯のこが切断材料や周りの物に接触していないことを確認してください。
機体を落としたりし、けがの原因になります。

4 蓄電池を取付ける

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。

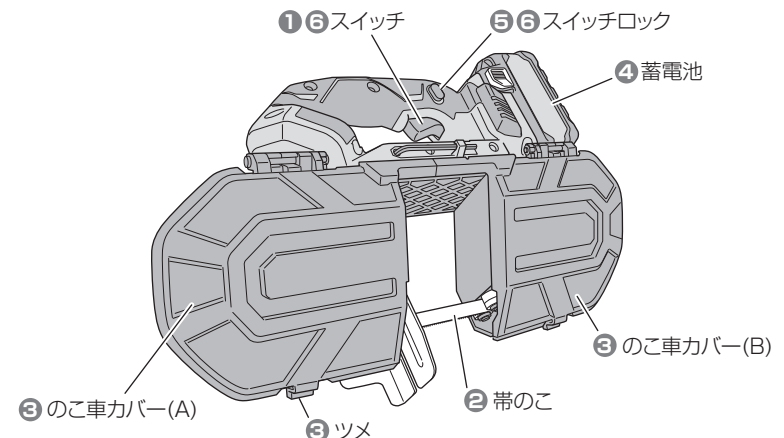


5 スイッチロックの動きを確かめる

スイッチロックは、機体が不意に起動するのを防ぐ物です。
スイッチロックを押して、はなしたとき引っかかりなく元の位置に戻ることを確認してください。
(P.16「スイッチの操作について」参照)

6 試運転を行う

作業前に、周囲の安全を確認してから空転させ、機体の振動や帯のこに異常がないことを確認してください。

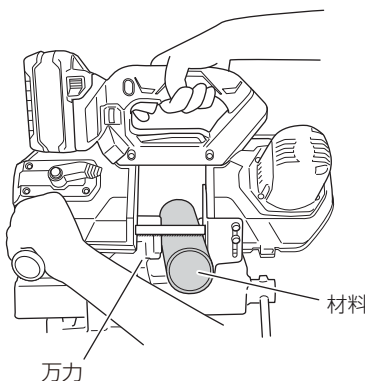


切断する

- 電線管、ステンレス鋼管、ライニング鋼管、棒鋼などの各種軟鋼材の切断
- 電力通信ケーブル、アルミサッシなどの非鉄金属材料の切断
- プラスチックの切断（熱軟化性のプラスチックは不可）

⚠警告

- 材料は、確実に固定してください。
材料の固定が不十分ですと、材料が動いたり帯のこが破損して、けがの原因になります。
- のこ車カバー (A)、(B) を取付けて使用してください。
帯のこがはずれたり、破損したとき、けがの原因になります。
- 使用中は、帯のこに手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。
- 事故を防止するため、作業中断時や作業後はスイッチを切り、蓄電池をコードレス工具本体から抜いてください。



⚠注意

- 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがある手袋の着用はしないでください。
手袋をして作業すると、回転部に巻き込まれ、けがの原因になります。
- 切断直後の帯のこ・材料・切粉は熱くなっているので、素手で触らないでください。
やけどの原因になります。
- 切断中、早く切断しようとしてハンドルに荷重をかけないでください。
切断精度が悪くなるばかりでなく、モーターがロックして機体の故障、および帯のこ破損の原因になります。
- 切断中、帯のこがロックした場合は、直ちにスイッチを切って、運転を停止してください。
帯のこ破損の原因になります。
- 使用する場合はハンドルとサイドハンドルを持ち、両手で保持してください。
- 連続して使用する際、フレーム内に切粉がたまる場合があります。
定期的のにこ車カバーを開けて、切粉を取り除いてください。
- 使用后、長期使用しない場合は、帯のこを機体から取りはずして保管してください。
機体に帯のこが長期間取付けられた状態が続くと、帯のこの寿命が短くなります。

- 注**
- 切断する材料の材質・肉厚に応じて帯のこ（帯のこの山数/インチ）、帯のこ周速を選定してご使用ください。
 - 新品の帯のこを使用する場合、帯のこ周速選定用ダイヤル「1」にし、切断荷重を軽く（製品を持上げ気味に）して外径 20 mm 以下の丸棒（炭素鋼）などで 1～2 回ならし切断してください。
ならし切断をしないと、刃先の欠けの原因となり、切断精度が悪くなります。
 - 熱軟化性のプラスチックは切断しないでください。
切断の熱により材料が溶けて、帯のこが材料に食い込み、モーターがロックする場合があります。
 - 焼入鋼などのかたい材料は、切断しないでください。

1 スイッチが切れていることを確かめる

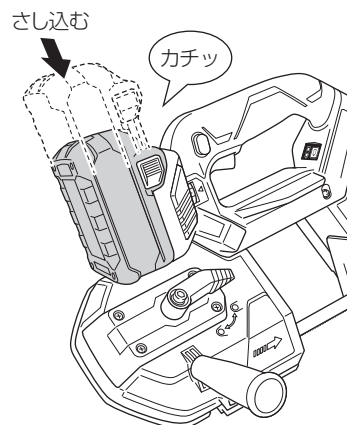
スイッチが入っているの知らずに蓄電池を工具本体にさし込むと、不意に機体が発動し、思わぬ事故の原因になります。

2 帯のこ周速を選定する

切断する材料の材質・肉厚に合わせて選定します。
(P.19「帯のこ・帯のこ周速の選定」参照)

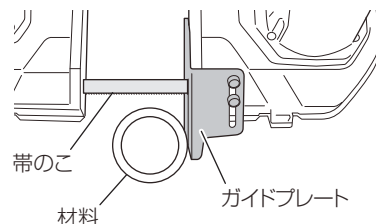
3 蓄電池を取付ける

「カチッ」と音がするまで、確実にさし込んでください。



4 ガイドプレートを材料に押し当てる

帯のこが当たらない位置で、材料をガイドプレートに押し当てます。

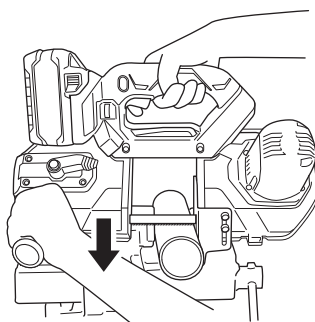


注 ガイドプレートと材料の間にスキマがあると、材料が暴れて帯のこの折損原因になります。

5 スイッチを入れ、切断する

回転が安定したら、帯のこに衝撃がかからないよう、帯のこをゆっくりと材料に近づけ、切断します。

注 ●帯のこに無理に荷重を加えないでください。
●薄肉の材料(肉厚2 mm 以下)の場合は、製品を持上げ気味にして切断してください。



6 切断を終わる

切り終わり時は、本機を少し持ち上げながらゆっくり切り終わってください。
切断終了後、スイッチを切ります。
LED ライトは約 15 秒後に自動消灯します。

7 帯のこを取りはずす

長期使用しない場合は、機体より帯のこを取りはずしてください。

作業上のご注意

●連続作業について

本機はモーターおよびモーターの駆動制御を行っている電子部品を保護するため、温度保護回路が搭載されています。

連続的に作業を行うと、機体の温度が上昇するため温度保護回路が作動し、自動停止する場合があります。その際は本機を十分に冷却してください。

温度が下がれば再び使用することができます。

また、連続的に作業する際は、蓄電池の交換時にコードレス工具本体を 15 分程度休ませてからご使用ください。

蓄電池の交換後すぐに作業を続けるとモーター、スイッチなどの温度が高くなり、故障の原因になります。

●機体の保持と押し付け力について

機体は両手で確実に保持してください。

機体を保持した際には、帯のこが材料に対し垂直になるようにしてください。

また、機体は必要以上に押し付ける必要はありません。

機体をこじる力や押し付ける力が過度にかけると、機体の故障の原因になりますのでご注意ください。

保守・点検

⚠ 警告

- 事故を防止するため、スイッチを切り、蓄電池をコードレス工具本体から抜いてください。
- 帯のこを取扱うときは、手袋を着用してください。

●帯のこの交換

帯のこの切れ味が悪くなると、モーターや機体の各部に無理をかけ、能率も悪くなります。
早めに新品と交換してください。
(P.21「帯のこの交換」参照)

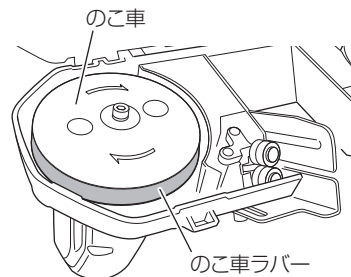
●のこ車ラバーの点検

のこ車ラバーは、のこ車(A)と、のこ車(B)との外周に取付けてあります。(はめ込み式)

帯のこの交換時などに、のこ車ラバーのたるみ、傷などを点検してください。

たるみ、傷などがあった場合は、帯のこの走行不安定、飛び出しの原因になりますので、お買い求めの販売店に交換を依頼してしてください。

注 のこ車ラバーに付いた切粉などは、定期的に取り除いてください。
帯のこがスリップし、けがの原因になります。

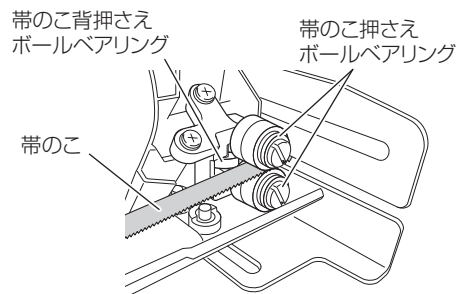


●帯のこ背押さえボールベアリングの点検

ベアリングホルダ中の、帯のこ背押さえボールベアリングが摩耗していないかどうか定期的に点検してください。

帯のこ背押さえボールベアリングが摩耗すると、帯のこに無理な力がかかり、帯のこ損傷の原因になります。

背押さえボールベアリングが摩耗しているときは、お買い求めの販売店に交換を依頼してしてください。



●帯のこ押さえボールベアリングの点検とスキマ調整

本機の使用を続けると、帯のこ押さえボールベアリング間のスキマが広がる場合があります。

スキマが広がると、帯のこが傾き、切断精度が悪くなる原因になります。

定期的に帯のこ押さえボールベアリングのスキマが適正か(帯のこが軽く触れる程度)点検し、適正でないときは、以下のように調整してください。

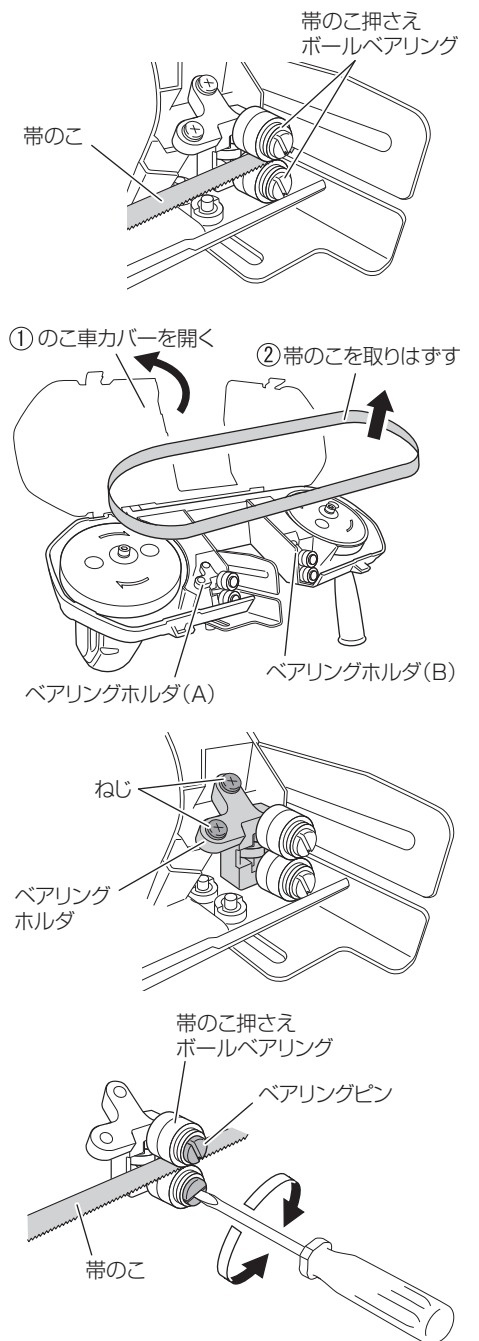
また、帯のこ押さえボールベアリングが損傷しているときは、お買い求めの販売店に交換を依頼してしてください。

1 のこ車カバーを開き、帯のこを取りはずします。
(P.21「帯のこの交換」参照)

2 お手持ちのプラスドライバーでねじをゆるめ、ベアリングホルダ(A)、(B)を機体から取りはずします。

3 お手持ちのマイナスドライバーでベアリングピンをゆるめます。
帯のこを帯のこ押さえボールベアリングの間に挟み、軽く接触するように締付け、微調整します。

4 ベアリングホルダ(A)、(B)を機体に戻し、帯のこを取付けます。
(P.21「帯のこの交換」参照)



●機体の点検

各部位の取付けに、ガタつきやゆるみがないか定期的に点検してください。
ゆるんだまま使用すると、けがなど事故の原因になります。
異常がある場合は、お買い求めの販売店に相談してください。

●モーターの取扱いについて

モーター（内蔵）（P.9「各部の名称」参照）に、油や水が浸入しないよう十分に注意してください。

●端子部の点検

工具体や蓄電池の端子部に切りくず、ほこりがたまっていないか点検してください。
作業前、作業後のほかに作業中でも時々点検してください。

●清掃する

機体が汚れたときは、石けん水に浸した布をよく絞ってからふいてください。
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用があるので使用しないでください。
また、定期的にこの車カバーを開けて、フレーム内にたまった切粉を取り除いてください。

●機体や付属品の保管

下記のような場所は避け、温度が50℃未満で乾燥した安全な場所に保管してください。

- お子様の手が届く場所、持ち出せる場所
- 軒先など雨が降りかかる場所、湿気がある場所
- 温度が急変する場所、直射日光が当たる場所
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質が置いてある場所

●リチウムイオン電池の輸送について

リチウムイオン電池を輸送する場合、次の点に注意してください。

⚠警告

輸送会社にリチウムイオン電池を含む荷物であること、および電力量を伝えて、輸送会社の指示に基づいた手続きを行ってください。

- 電力量が100 Whを超えるリチウムイオン電池の場合は、輸送貨物の分類上、危険物扱いとなり、特別な申請等が必要になります。
- 海外へ輸送する場合、国際法令および輸送先国の規制に従う必要があります。

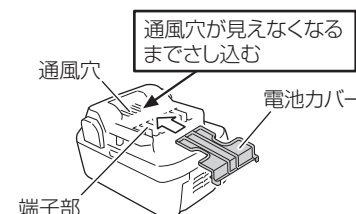


●リチウムイオン電池の保管について

⚠警告

リチウムイオン電池の端子部に導電性のある異物が入り込むと、短絡（ショート）して発熱・発煙・発火する恐れがありますので、保管するときは、以下の内容を守ってください。

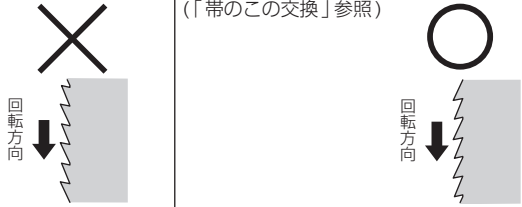
- 収納ケースに導電性のある切りくずや釘、針金や銅線などの線材を入れないでください。
- 短絡（ショート）するのを防ぐため、蓄電池は工具体にさし込むか、電池力バーを取付けて保管してください。



注 リチウムイオン電池を保管するときは、半分程度の容量で保管してください。
蓄電池の残量が少ない状態で長期間（3か月以上）保管すると蓄電池が劣化し、使用時間が著しく短くなる、または充電できなくなる恐れがあります。
充電と使用を繰り返しても使用時間が極端に短い場合は、蓄電池の寿命とご判断いただき、新しい蓄電池をお買い求めください。

故障診断

「故障診断」で対応できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
また、蓄電池が原因の場合もありますので、充電器と蓄電池を組でご持参ください。

状 況	原 因	対 策
動かない / 止まった	電池残量がない	蓄電池を充電してください。
突然止まった	過負荷になった	大きな負荷を与えた原因を解消してください。
	蓄電池が過熱状態になった	蓄電池を十分冷ましてください。
帯のこがはずれる	帯のこや材料に油や汚れが付着している	帯のこや材料に付着している油や汚れをふき取ってください。
	帯のこが正しく取付いていない	帯のこを正しく取付けてください。 （「帯のこの交換」参照）
帯のこが材料に食い込む	材料に適した帯のこを使用していない	正しい帯のこ・帯のこ周速を選定してください。 （「帯のこ・帯のこ周速の選定」参照）
	材料に適した帯のこ周速になっていない	
切断精度が悪い	帯のこの摩耗	新品の帯のこに交換してください。
	材料に適した帯のこを使用していない	正しい帯のこ・帯のこ周速を選定してください。 （「帯のこ・帯のこ周速の選定」参照）
	材料に適した帯のこ周速になっていない	
	帯のこが正しく取付いていない	帯のこを正しく取付けてください。 （「帯のこの交換」参照）
	帯のこ押さえボールベアリングのスキマが広がっている	正しくスキマを調整してください。 （「帯のこ押さえボールベアリングの点検とスキマ調整」参照）
	純正品以外の帯のこの使用	純正品の帯のこを使用してください。
	ならし切断が不十分	新品の帯のこの場合は、ならし運転を行ってください。 （P.22「帯のこの交換」8 参照）
切断時間が長い	帯のこの向きが逆	帯のこを正しく取付けてください。 （「帯のこの交換」参照）
		
	材料に適した帯のこを使用していない	正しい帯のこ・帯のこ周速を選定してください。
	材料に適した帯のこ周速になっていない	（「帯のこ・帯のこ周速の選定」参照）
	帯のこの摩耗	帯のこを交換してください。
切断時の振動が大きい	電池残量が少なくなった	蓄電池を充電してください。
	帯のこの刃が欠けている	帯のこを交換してください。
	材料に適した帯のこを使用していない	正しい帯のこ・帯のこ周速を選定してください。
	材料に適した帯のこ周速になっていない	（「帯のこ・帯のこ周速の選定」参照）

状 況	原 因	対 策
刃先がたびたび欠ける	切断時に押し付け過ぎる	自重が軽く押さえる程度で切断してください。
	帯のこを衝撃的に材料へ当てた	ゆっくり近づけ、静かに切断を開始してください。
	切断中に材料が動いた	万力などでしっかりと固定してください。
	材料に適した帯のこを使用していない	正しい帯のこ・帯のこ周速を選定してください。
	材料に適した帯のこ周速になっていない	（「帯のこ・帯のこ周速の選定」参照）